

～ 企業における「働き方改革」の検討状況に関する実態調査 ～

プレミアムフライデーに合わせた「働き方改革(早帰り等)」 企業・団体の約8割が前向きに検討

公式ロゴマーク使用申請企業・団体数も、2,000件を突破！

2月24日(金)から始まる「月末の金曜日は、早めに仕事を終えて豊か・幸せに過ごす」という新しいアクション「プレミアムフライデー」を目前に控え、プレミアムフライデー推進協議会事務局は、経団連会員など賛同企業・団体約1,600社を対象に、「プレミアムフライデー」に合わせた働き方改革の検討状況についてアンケート調査を実施いたしました。(有効回答数233件)。

結果、約8割の企業が「前向きに検討している」という結果となり、プレミアムフライデーを契機に働き方を見直そうとしている企業・団体の姿が浮き彫りとなりました。フレックスタイム制の導入や終業時刻の繰り上げ、支援金支給といった制度の導入をすでに決定している企業・団体も多数。「メリハリある働き方」を推奨し、生産性の向上や仕事の効率化につなげようとしている経済界の動きがうかがえます。

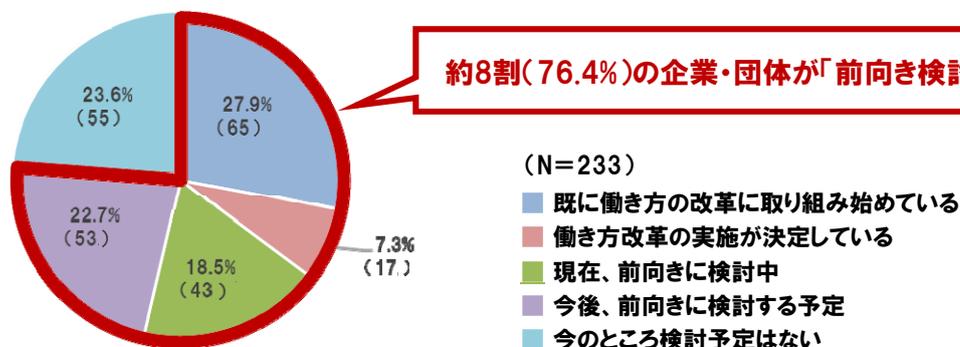
なお、昨年(2016年)の12月12日(月)から公式WEBサイト上(<http://premium-friday.go.jp/>)で開始したプレミアムフライデー公式ロゴマークの申請数も、2,000件を超え(2017年2月15日現在、2,342件)、多くの企業・団体からご登録をいただいております。

【企業における「働き方改革」の検討状況】

プレミアムフライデーを契機とした「働き方改革」 4社に1社が「既に取り組み始めている」、「前向き検討」は約8割！

「既に働き方の改革に取り組み始めている」「働き方改革の実施が決定している」「現在、前向きに検討中」「今後、前向きに検討する予定」を合わせた「前向き検討」の回答が76.4%となり、**約8割の企業・団体が働き方改革を前向きに検討している**ことがわかりました。

Q.貴社では、2月以降も継続実施される「プレミアムフライデー」に合わせた働き方改革の検討は行われていらっしゃいますか。(SA)

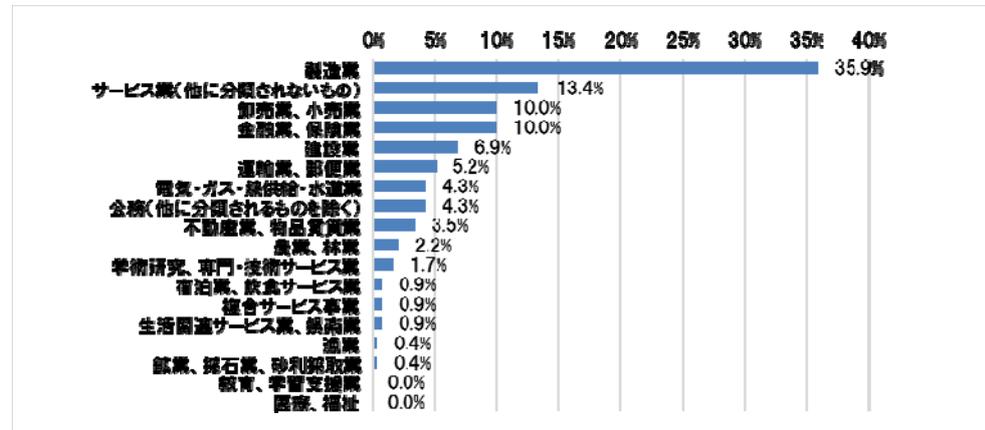


【本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先】

プレミアムフライデー推進協議会事務局
E-mail : info_pf@ozma.co.jp

調査概要

- 調査対象 経団連会員など賛同企業・団体約1,600社(有効回答数233件)
- 回答企業属性



- 調査方法 FAX調査
- 調査主体 プレミアムフライデー推進協議会事務局
- 調査期間 2017年2月8日(水)～14日(火)

【各企業とその取り組みのご紹介①】

企業・団体名	取り組み内容
アサヒグループホールディングス株式会社	【働き方改革】在宅勤務、スーパーフレックスの利用促進。(月に1回の在宅勤務、週に1回のスーパーフレックス制度の利用推奨。) 【有給休暇取得促進】次の制度利用を推奨。 ①ハッピーフライデー:月に2回、金曜日の午後に半休を取得する ②プラスワン休暇:土日+1日の休みを取得する ③スーパーリフレッシュ休暇:平日5日に休みを取得し、土日含めて9連休に
株式会社梓設計	計画的有給休暇の実施プレミアムフライデー実施。
アステラス製薬株式会社	特定部門を除き、毎週金曜日の就業時間は16:00までとしている。
アンリツ株式会社	長時間労働への取り組み、ある程度の効果が見え始めている。次なるステップとして、生産性向上、意識改革に向けた施策を検討中。
京西テクノス株式会社	ノー残業デー対応、有給休暇取得促進、フレックスタイムの活用など。
コナミホールディングス株式会社	【決定済み事項】3月のプレミアムフライデー該当週を「コナミファミリーウィーク」とし、効率的に業務を終わらせることで、早期帰宅を促し、社員と家族との時間を増やす(期間中1日は半休取得を推奨) ファミリーウィークの一環として、「こども参観日」を実施。社員の子どもが職場見学を行う事で職場・家族とのコミュニケーション活性化を行う。 【検討中事項】所定就業時間の前倒し 等
株式会社サニーサイドアップ	毎月最終金曜日は15時で業務終了 初月は支遣金も支給。
三機工業株式会社	毎月、給与支給日に半日有給休暇・全日有給休暇の取得推奨およびノー残業デーの推奨。
サントリーホールディングス株式会社	毎月最終金曜日にサントリーグループ国内の社員約5,000名を対象に「午後3時の退社」を推奨します。 また、「プレミアムフライデー」実施を機に、本年リニューアルする「サ・プレミアム・モルツ」のおいしさを体感いただく活動を強力に展開します。
塩野義製薬株式会社	No残業デー、Eco日、リフレッシュフライデー。
四国経済連合会	プレミアム・フライデーの実施。
一般社団法人静岡県経営者協会	毎月の月末金曜日は職員全員が15時に終業する。
仙台ターミナルビル株式会社	従業員への半休遺通プレミアムフライデー用のレストランメニュープレミアムフライデー用のレストラン割引。
第一生命保険株式会社	業務効率化取組(業務全般の削減・見直し)・退館時間の設定(既存の内勤に加え、営業職も実施) 労働時間の縮減・プレミアムフライデーと合わせた早帰り設定
株式会社大京	年休取得推奨日に設定ノー残業デーの実施。
タマホーム株式会社	今月2月より、下記の内容にてプレミアムフライデーを導入。 月末金曜日と月末の1週前の金曜日いずれかを選択し、午後の半日有給休暇を取得することを奨励(勤務時間 9:00～13:00)半日有給休暇ではなく、全日の有給休暇または連休・公休の取得も可。2週にわたった理由:お客さま対応のため、月末金曜日に限定せず、2週に分散。
東京ガス株式会社	当社に勤務する社員・有期契約社員(交替勤務者、宿直等除く)を対象に、業務への支障がない範囲で、各人の半日休暇や15時のフレックスタイムの取得を推奨する。

【各企業とその取り組みのご紹介②】

企業・団体名	取り組み内容
株式会社東邦銀行	フレックスタイム制を活用し、当該日はコアタイム終了時刻である16時以降に退行。
日本特殊陶業株式会社	4月から、まずは毎月最終金曜日を「プラスワン定時退社日」に設定することを決定した。併せて、1月から導入した「2時間休暇制度」や「フレックスタイム」の有効活用で、15時15分退社を推奨する取り組みも進めていく。さらに社内福利厚生施設のプレミアムフライデー限定サービスも今後検討していく。
一般社団法人日本印刷産業連合会	プレミアムフライデーには、有給休暇(半日・全日)を積極的に取得していく。
日立キャピタル株式会社	・フレックスタイム制勤務や在宅勤務、企画業務型裁量労働制等の柔軟な勤務制度の導入・利用促進。フリーアドレスの導入・朝型勤務の継続実施 ／早朝勤務割増加算による奨励。 ・夜間勤務制限の実施／21時以降原則禁止、22時以降禁止。21時以降に帰社を促すメッセージをPCにポップアップ表示。 ・一斉年休の増設／2015年度2日→2016年度3日→2017年度4日 ・計画年休取得推進日の増設⇒リフレッシュの観点から4日以上連続した取得ができるよう設定／2015年度5日→2016年度10日→2017年度14日
株式会社日立ハイテクノロジーズ	・年休取得促進日とする・余暇時間の活用を促す社内向けイベント(文化的活動等)を実施予定。
株式会社第一	働き方・休み方改革の一環としてプレミアムフライデーの趣旨に賛同し、中小企業ならではの取り組み方について検討している。製造現場や店舗などの運営に支障をきたさない方法として、交代での取得、日程をずらした取得、月内の社員の都合のよい日程での取得の義務化、地域クーポンなど地域の消費へつなげる方法、フレックス・タイム制の導入など、中小企業ならではの導入方法について事例や情報を収集し、分析・検討を進めている。
ファイザー株式会社	残業削減、まとまった休暇の取得。
芙蓉総合リース株式会社	プレミアムフライデーに先駆け、2月3日から2ヵ月に1回、いずれかの金曜日を選択して15時に早帰りする「+Friday(プラス・フライデー)」を導入(定時まで働いたものとみなす制度)。
三井住友カード株式会社	初回2月24日については、定時退社(17:30)日に新たに指定するとともに、半休制度(午後休)の取得を推進。今後の対応については別途検討予定。
株式会社三越伊勢丹ホールディングス	プレミアムフライデーの実施に関係なく、数年前から店舗を中心とした働き方改革に取り組んでいる。営業時間の短縮、店舗休業日の設定⇒既に数年前から導入・テレワーク導入の検討(社内最終調整中で4月から段階的に導入を検討)。
森永製菓株式会社	1. 「15時フレックス退社」または「午後年休(全日含む)」のいずれかに取り組むことを推進(工場操業など取組が困難な場合は除く)。 2. 当日の会議・行事等の別日設定の推進。3. 従業員へ期間中の消費・経済の活性化につながる過ごし方を要請
ヤマハ発動機株式会社	フレックスタイムや半日休暇の有効活用や定時退社デー(会社休日の前日、給与支給日、賞与支給日)を実施している。
株式会社USEN	2月度においては、顧客対応部門を除く全社員午後3時退社とする。有給休暇を消化させないことがポイント。別途社内キャンペーンなども実施。
株式会社リコー	フレックスタイム制度による早帰り、年次有給休暇の取得の促進、プレミアムフライデーの会議設定を控える
株式会社リンクレア	定時退社日の徹底、ブリッジホリデー、イリスウィークの推奨、イベント開催 等。

参考資料

■「プレミアムフライデー」ネーミングについて

「月末の最終金曜日のイベントであること」、そして「豊かなコト体験をイメージできること」。それらを集約する名称として、「プレミアムフライデー」は誕生しました。

プレミアムというワードは、すでに日本の様々な商品、サービス、活動に使われているため、一般の方々にもイメージしやすく、馴染みやすい。それに加え、ゴージャスではない「本当の意味の豊かさ」を表現できると考えました。「プレミアム+フライデー」は、そのシンプルな組み合わせで、現在の日本に、金曜日からはまる新しい豊かさを表現しています。

■「プレミアムフライデー」公式ロゴマークについて

「PREMIUM FRIDAY」の「P」と「M」、「プレミアムフライデー」の「プ」と「ム」を目に見立て、プレミアムフライデーで盛り上がる笑顔デザイン。ロゴマークにキャラクター性を付加し、親しみの持てるロゴとしました。

「プレミアムフライデー」の文字がマークと一体化した使いやすいデザインで、企業・団体が最適なマークを選択できるよう英文、和文の2タイプのロゴを作成。背景カラーも状況に応じて活用できるように、様々なバリエーションを用意しました。また、デザインも各社・各団体が自由にカスタマイズできるようにしました。



英文ロゴマーク(メイン)



和文ロゴマーク